

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

保育園番号	
園名	こどもヶ丘保育園大森北園
クラス	3歳児クラス／ぱんだ組

1. 活動テーマ

【テーマ】

絵本「へんしんトンネル」

【テーマの設定理由】

絵本「へんしんトンネル」は、言葉の響きや繰り返しを楽しみながら、想像したものになりきって表現することができる題材であり、3歳児にとって親しみやすい内容である。

本活動では、絵本の世界を通して言葉の面白さや変化に気づき、声に出したり、身体で表現したりする経験を重ねていきたいと考えた。

日々の遊びの中で繰り返し楽しむことで、表現することへの安心感を育み、楽しさを感じられるようにすることを目的として、本テーマを設定した。

2. 活動スケジュール

- 1回目 1月28日(金)：絵本読み聞かせ
- 2回目 1月26日(金)：制作遊び
- 3回目 1月 8日(木)：劇遊び
- 4回目 1月20日(火)：お楽しみ会

3, 探究活動の実践①

【活動の内容】 11月28日(金)

- ・活動のために準備した素材や道具、環境の設定
- ・活動中のこどもの姿・声、こども同士や保育士との関わり

絵本「へんしんとんねる」の読み聞かせ後、お楽しみ会で発表することを伝えると、子どもたちは興味を示し、「やりたい。」「〇〇がいい。」と自分の思いを言葉で伝えながら、役選びに意欲的に参加していた。

役を決めていく中で、「ぶーちゃん。」「こらっ！」など絵本の言葉を真似し、声や表情を使ってすでに役になりきって表現する姿が見られ、子ども同士で笑い合いながらイメージを共有していた。

保育士が声の出し方や動きについて問いかけることで、子どもたちは自分なりに考え、試しながら表現を広げていく様子が見られた。



4, 保護者への共有

送迎時に口頭で様子を伝えて、情報を共有した。

5, 振り返り

【振り返りによって得た保育者の気づき】

絵本の言葉の面白さを楽しみながら、声や表情で表現し、発表への期待をもって主体的に活動に参加する姿が見られた。絵本を十分に楽しむ経験が、子どもの安心感や意欲につながり、自然な表現活動へと発展することを実感した。

3, 探究活動の実践②

【活動の内容】 12月26日(金)

- ・活動のために準備した素材や道具、環境の設定
- ・活動中のこどもの姿・声、こども同士や保育士との関わり

大きな段ボールを使い、保育者がトンネルの土台を作った上で、子どもたちと一緒にトンネルの出入り口の色塗りを行った。

絵本「へんしんとんねる」の表紙を見ながら、「この色だね。」「いっしょだね。」と話し、同じ色を意識して塗ろうとする姿が見られた。

友だちと色を確認し合ったり、保育者に伝えたりしながら、絵本の世界を思い浮かべて活動に参加していた。



4, 保護者への共有

送迎時に口頭で様子を伝えて、情報を共有した。

5, 振り返り

【振り返りによって得た保育者の気づき】

絵本と実物を結びつけることで、子どもたちはイメージをもちやすくなり、色や形に関心を向けながら主体的に取り組む姿が見られた。

身近な素材を用いた活動であっても、絵本を手がかりにすることで、表現や探究が深まり、次の活動への意欲につながることに気づいた。

3, 探究活動の実践③

【活動の内容】 1月8日(木)

- ・活動のために準備した素材や道具、環境の設定
- ・活動中のこどもの姿・声、こども同士や保育士との関わり

小道具や被り物を用意し、絵本「へんしんとんねる」の世界をイメージしながら、劇遊びを行った。

言葉遊びを楽しみつつトンネルをくぐり、次の役へと変身する流れの中で、子どもたちは被り物を身に着けることで役になりきり、声や動きで表現しながら意欲的に参加していた。

友だちの様子を見て真似たり、次の役を楽しみに待ったりする姿も見られ、活動の流れを理解しながら劇遊びを楽しんでいた。



4, 保護者への共有

送迎時に口頭で様子を伝えて、情報を共有した。

5, 振り返り

【振り返りによって得た保育者の気づき】

小道具や被り物を用いることで、子どもたちは役のイメージをもちやすくなり、言葉や動きでの表現がより豊かになった。トンネルをくぐって変身するという分かりやすい流れが、安心感と期待感につながり、楽しみながら劇遊びに取り組めることに気づいた。

3, 探究活動の実践④

【活動の内容】 1月20日(火)

- ・活動のために準備した素材や道具、環境の設定
- ・活動中のこどもの姿・声、こども同士や保育士との関わり

お楽しみ会当日は、保護者の前で歌や劇あそびを行った。
これまでの活動で親しんできた小道具や被り物、トンネルを使いながら、一人ひとりが役になりきって表現し、全員が最後まで劇あそびをすることができた。友だちと一緒に声を出したり動いたりしながら、安心した様子で楽しむ姿が見られ、これまでで最も意欲的に取り組む姿が見られた。



4, 保護者への共有

すくわくプログラム活動報告書を保育室出入りに掲示。

5, 振り返り

【振り返りによって得た保育者の気づき】

日々のあそびの積み重ねが、安心感と自信につながり、全員で劇あそびを行うという成果を生み出したことを実感した。「できた」「楽しかった」という経験が、子どもたちの表現する力や自己肯定感を育むことにつながると感じた。